

インドネシア：政策金利の据え置きを決定 据え置きは市場予想通り、通貨ルピアの安定を重視

インドネシア中央銀行（BI）は2月19日、2日間（18～19日）の金融政策決定会合を終え、政策金利の据え置きを決定しました。BIは会合後の声明で、今回の据え置きは通貨の安定と経済成長を支えることを狙った上での決定である、と説明しました。BIの動向、市場の反応および今後の見通しについてご説明します。

➤ 予想通りの据え置きを決定、通貨ルピアの安定を重視

金融政策について：

- BIは2月19日、2日間の金融政策決定会合を終え、政策金利である7日物リバースレポ金利を**5.75%のまま据え置くことを決定**しました。大方の市場参加者は政策金利の据え置きを見込んでいたため、今回の発表は**市場の予想通り**となりました。
- BIはまた、翌日物預金ファシリティー金利と貸出ファシリティー金利もそれぞれ5.00%と6.50%と、いずれも**現状のまま維持**することも決定しました。
- インドネシアでは1月に政策金利の引き下げに踏み切っていました。今回の据え置きは通貨ルピアが安値圏で推移する中、**ルピアの安定を重視**した形となりました。
- ペリー・ワルジョ中銀総裁は会合後の記者会見で『今回の決定は、世界的に不確実性が依然として高い状況下、**通貨ルピアを安定させ**、経済成長を支える必要があるとの判断に基づく』と述べました。

※ 次回の金融政策決定会合は2025年3月に開催予定。

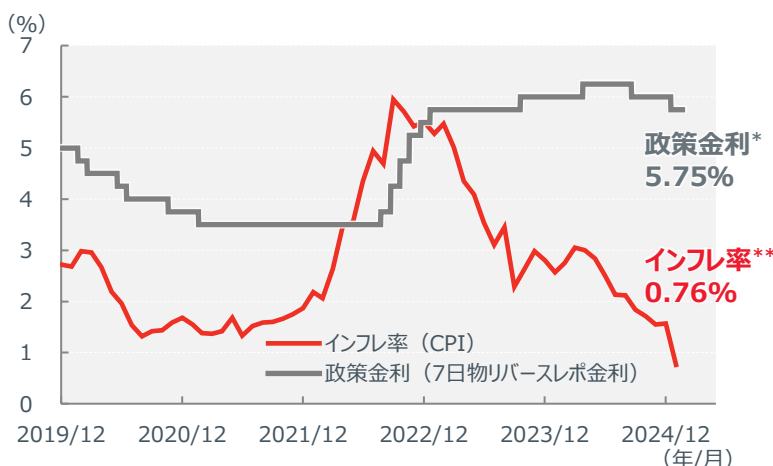
経済成長について：

- BIはインドネシア経済の先行きについては、投資、特に非建設投資の増加に支えられ、**2025年の経済成長率が4.7～5.5%の予測範囲に収まると予測**しました。

インフレについて：

- BIはインフレ見通しについて、**引き続き抑制され、BIの目標レンジ内（1.5%～3.5%）に収まるとの自信**を示しました。同国のインフレ率は低下傾向にあり、**直近1月は前年同月比0.76%**と12月の1.57%から**大幅に鈍化**し、目標レンジの下限（1.5%）を割り込んでいます。

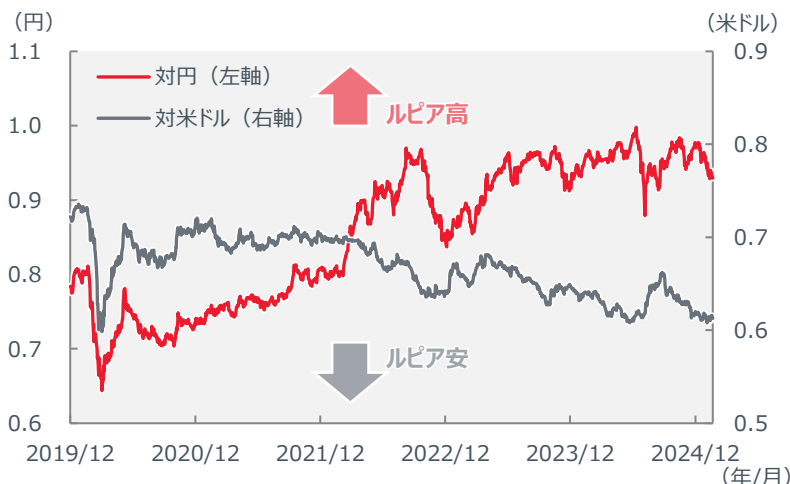
政策金利とインフレ率
政策金利*とインフレ率**の推移
(2019年12月31日～2025年2月19日)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
* 7日物リバースレポ金利。
** 消費者物価指数（CPI）上昇率。前年同月比。2025年1月まで。

為替

インドネシアルピア（対円、対米ドル）の推移
(2019年12月31日～2025年2月19日、日次)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※ 対円は100ルピア、対米ドルは10,000ルピア当たりの推移。

○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

250220 (03)

(1/2)

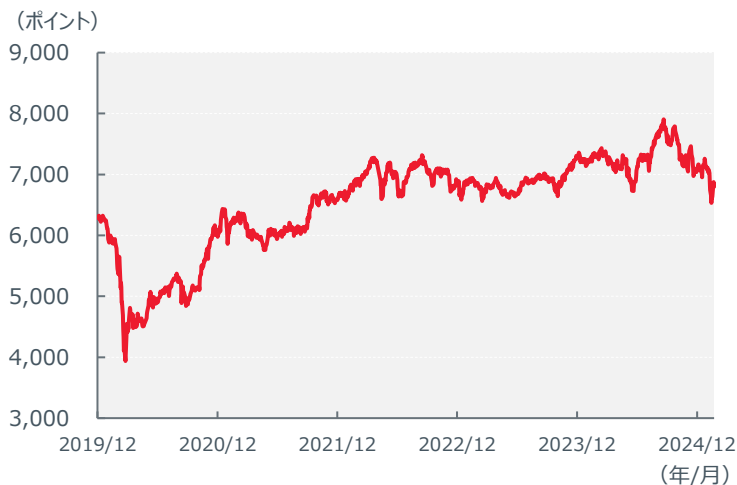
➤ 市場の反応と今後の見通し

- 市場では今回の金融政策決定会合による政策金利の据え置きが見込まれていたため、据え置き決定は市場の想定内となりました。発表当日の19日の株式市場は下落（ジャカルタ総合指数は前日比-1.14%）、為替は対米ドル、対円ともに下落しました（前日比でそれぞれ -0.40%、-0.31%）。債券市場は長期国債の利回りは上昇（価格は低下）しました（10年国債利回りは前日比 +6.0bps（+0.06%））。
- 私たちイーストスプリングは、インドネシアの政策金利が今後1年間に5.0~5.5%に向けて徐々に引き下げられるものと予想していますが、こうした動きは米連邦準備制度理事会(FRB)の政策軌道に大きく左右されることになると考えています。
- 一方、インドネシアの資本市場については、マクロ経済成長とインドネシア企業の競争力強化とあわせて、**規律ある財政運営への期待**などを背景に資金流入が促される、と私たちは考えています。

株式

ジャカルタ総合指数の推移

(2019年12月30日～2025年2月19日、日次)

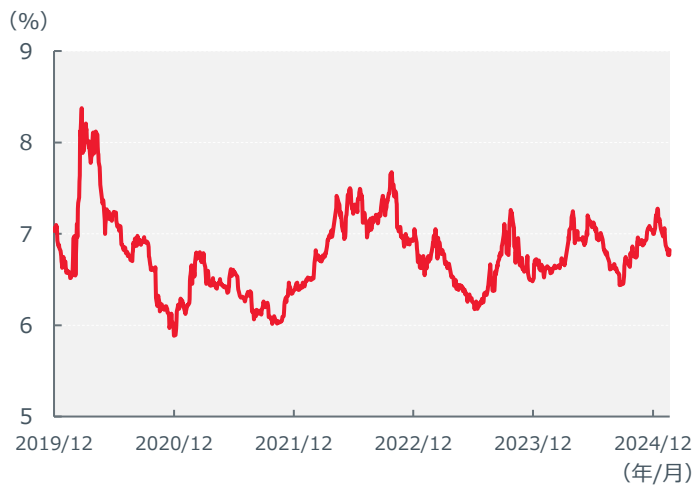


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

債券

インドネシア10年国債利回りの推移

(2019年12月31日～2025年2月19日、日次)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項>

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。○当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。○当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。